

## 「 $\alpha - \omega$ 」に関するアンケート報告

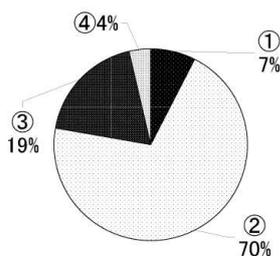
編集委員会では、平成 16 年度春季研究大会において、大会参加者の方々に部会誌「 $\alpha - \omega$ 」に関するアンケートをお願いしました。アンケートは A4 版 1 枚で行いました。参加者 102 名中、54 名の方から回答を得ました。以下、設問ごとに簡単にご報告します。

①  $\alpha - \omega$  を読んでいますか？該当するものをつけてください。

- ① 全ての記事に目を通し精読している
- ② 目次を見て興味のあるところは読む、ざっと目は通す
- ③ パラパラッとページはめくる
- ④ 全然読まない（開かない）

今回の大会参加者についての設問です。回答数は、①4、②38、③10、④2 でした。アンケートに回答して下さった方については①②を含めると 8 割の方が読んでいると考えられます。

### 設問1の回答の割合



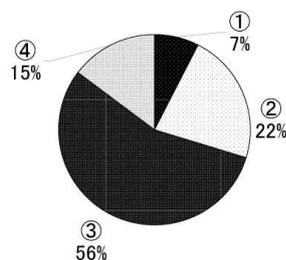
② あなたの学校の職員数（管理職を除く数学の教員）は（あなたを含めて）→ \_\_\_\_\_ 人

③ あなたの周りの職員（今回の春季大会に参加していない職員）は「 $\alpha - \omega$ 」を読んでいるようですか？該当するものをつけてください。（何となくで構いません）

- ① 全ての職員が読んでいる
- ② 大多数の職員が読んでいる
- ③ 一部の教員が読んでいる
- ④（他の職員は）全く読んでいないようだ

この設問については、参加者の方から見た同僚の方の「 $\alpha - \omega$ 」への感触を聞きました。大会当日の突然のアンケートであったため、あくまでその方の直感のようなもので回答して頂きました。③についての回答数は、①4、②12、③30、④8 でした。①と比較すると、①から④がひっくり返ったような結果でした。①と③の回答結果から「自分は読んでいるけど、周りの人は読んでいない人が多いかも？」という印象を受けました。

### 設問3の回答の割合



### ②と③の回答結果から

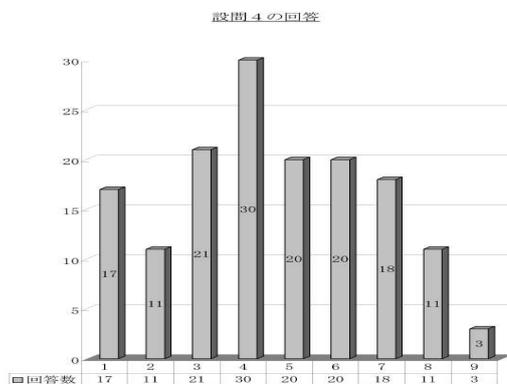
「②の回答」×「4 - ③の回答番号」の和(\*)

を計算してみました。例えば、回答のあった 54 校全ての③の回答が「①全ての教員が読んでいる」であった場合の(\*)は 897 です。逆に、③の回答が「④全く読んでいない」であった場合の(\*)は 0 になります。「②の回答」をかけることで、54 校の職員一人ひとりにアンケートを採ったと仮定した計算を行いました。このように、897 点満点の試験のような形で上記の計算を行ってみると、368 でした。100 点に換算すると約 41 点という結果になりました。

④ 「 $\alpha-\omega$ 」では、様々な企画をしてきました。以下のもので、興味深かったものをお答え下さい。該当するものに をつけてください。(複数回答可)

- ① 教科書会社へのインタビュー (過去 6 回、様々な分野の方々に突撃インタビューをしました)
- ② 教科書会社へのインタビュー (39~41 号の 3 年間で新しい教科書に関して扱いました)
- ③ 原点 (数学の初任の先生に書いていただいています)
- ④ わが数学科 (各学校の数学科の様子を紹介しています)
- ⑤ インターネットおもしろサイト (数学に関するインターネット上の情報を紹介しています)
- ⑥ 読書のすすめ (数学に関する書籍の紹介をしています)
- ⑦ 数学ソフトウェア案内 (数学に関するコンピュータソフトを紹介しています)
- ⑧ センター試験の研究 (大学入試センター試験に関する研究委員会からの報告)
- ⑨ その他 (企画名をお書き下さい: )

編集委員会では、どのような企画(記事)が興味を持たれるのか、常に意識しています。その参考にするために、④のような設問を設けました。回答数は以下の通りです。



皆さん他校のことが気になるのか「わが数学科」が一番よく読まれている記事のようです。また、初任の先生に書いて頂いている「原点」もよく読まれているようです。初任の頃を思い起こして、今の自分の状況を見つめ直して読んでいる方もいらっしゃるかもしれません。

また、自由記述の「⑨その他」には、 $\text{T}_\text{E}_\text{X}$ に関する次のような意見が寄せられました。

- emath, MathTeX を詳しく (使い方, 使用例)
- $\text{T}_\text{E}_\text{X}$  の詳しい紹介記事

⑤ 「 $\alpha-\omega$ 」についてご自由にお書き下さい。例えば「過去の記事に対する意見」、「こういった記事があれば面白い」、「こういう企画はどう?」等、どんなに些細なことでも構いません。

自由記述での回答をお願いしました。「お疲れさま」「これから目を通します」のようなありがたい回答もありました。意見、要望の回答について列挙します。

- 県内大学の入試問題検討など今後も継続して行い、大学の数学教育の特徴(大学が必要としている数学力)等も取材して欲しい。
- クイズみたいなものを入れて欲しい(2名)。
- 計算力テストの結果を載せて頂いたことがあります。資料として保存しやすく良かったと思います。
- 「わが数学科」のページを増やしても良いのではないかと。
- もっと皆が気軽に投稿できる雰囲気があればよい。固い。

これらの意見を、今後の「 $\alpha-\omega$ 」の誌面作りに生かしていきたいと思えます。

最後になりますが、突然のアンケートにもかかわらず、回答して下さった先生方に感謝いたします。

【編集部】